

卒園式答辞 高3Y.H

本日は、私たち卒業生のために、このような盛大な卒園式を開いて頂き、心から感謝しております。

つくば養護学校での三年間は、勉強だけではなく、多くの大切な事を教わりました。まず、一番に、自分の思いを伝える事の大切さ、次に、仲間との絆、最後に、どんなことにも負けない強い心です。私は、入学当初、学校に馴染む事ができませんでしたが、今では、仲間と協力し、一つ一つの事を築きあげる喜びを感じるようになりました。又、先生とクラスの皆と笑いの絶えない明るく充実した日々を過ごすことができました。

三年間の一番の思い出は、沖縄への修学旅行です。沖縄の文化を学び肌で感じる事ができました。四日間行動を共にし、同じ物を見、同じ物を食べ、友達と一緒にいる事の心地良さを感ずることができました。そしてつくばフェスタでは、沖縄喫茶「ゆいまーる」を開き沖縄で体験したエイサーを披露し、多くの御客様に来ていただきました。このフェスタを通して仲間との絆を深める事ができました。

私たちが今日この日を迎える事ができたのは、多くの人達に支えて頂いたからです。いつも、温かく見守って下さった両親、学園の先生、スクールバスの乗務員さん、そして、時には優しく時には厳しく教えて下さった先生方、本当にありがとうございました。

今後大きな壁が立ちたかっても、ひとつひとつ乗り越えて、立派な社会人となるよう、歩んでいきます。

退園生の言葉 中3S.T

「思い出」

中学二年の時に来て、最初は森しなくてあせったが、畑もあった。自分が住んでいた場所には、無かった景色だったので、新鮮だった。そして学校でいじめられた。だが、Kが助けてくれた。それでも教室へ行くことができなかった。夏休み終わってから行くようになった。

そしてある子と仲良くなった。いつもそいつといたから、周りが気にならなくなった。しだいにみんなとも仲良くなった。みんなと色々な場所へ行った。正直だるかった。でも今となってはいい思い出です…。

みんなに
会えて
本当に
よかったあ。



今年度から太陽ホームで働くことになりました立川歩美です。笑顔忘れず楽しく毎日を過ごしたいと思っています。

初めての事ばかりで、皆さんに迷惑をかけることもたくさんあると思いますが、頑張りますのでよろしくお願い致します
太陽ホーム 立川歩美

新任職員あいさつ

今年度は新たに3名の職員さんが仲間入りしました☆それぞれ一言頂きましたので、ご紹介します。

素直な子供たち、又、優しい園長先生、職員の方達の方で精いっぱい頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

用務 小柳きみ子

離職から30数年の月日が流れ、またこの愛児園で子ども達と接することができることに、ささやかな喜びを感じているところです。子ども達の将来をみつめ少しでも自立支援に助成出来ればと思っています。短い間ですがよろしくお願い致します。

さくらホーム 鈴木澄江

平成22年4月号

明るくのびのびと

社会福祉法人 筑波会

児童養護施設
筑波愛児園

〒300-4244茨城県つくば市田中1781番地

TEL:029-867-0432 / FAX:029-867-1839

E-mail : t-aijien@au.wakwak.com

HP:http://www.aijien.e-tsukuba.jp/index.htm

Blog : http://tsukuba-aijien.at.webry.info/

明るくのびのびと～新年度を迎えて～ 筑波愛児園園長 宮田浩明

東京秋葉原からつくばエクスプレスで45分、科学の街つくば駅があります。そこから車で約30分、市街地、筑波大学を抜けると自然豊かな森と田園地帯になり、その地に児童養護施設筑波愛児園があります。

筑波愛児園からは、古く奈良時代後期の歌集、「万葉集」で三十五首が詠まれた西の富士、東の筑波で知られる名山、筑波山の雄大な姿が目の前に広がります。神々が宿る筑波山、そして子どもたちが生活する園のまわりにも、今年も可憐な花を咲かせる山野草が顔をのぞかせています。22年度を迎え筑波愛児園では、小学生3名、中学生3名、高等学校3名の新入学生と、それぞれ進級した子どもたち40名が生活しています。

昭和48年創立の筑波愛児園では子どもたちの生活する建物が老朽化しており、安心、安全な生活を保障する為には移転改築が大きな課題でした。この数年、たくさんの方々、多数の企業様のご支援、ご貢献をいただき、ようやく行政に対して移転改築の申請をする運びとなり子供たち、職員共々夢が膨らんでいます。また、筑波愛児園

では子どもたちの精神的、情緒的安定した生活を図る為、専門機能強化型児童養護施設として筑波大学、市立

病院の先生方のご支援をいただくことで行政より指定を受けました。

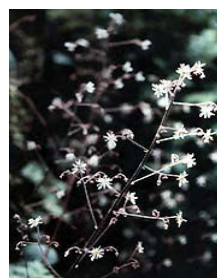
子どもたち一人ひとりの明るい笑顔の生活、子どもたちに携わる職員もまた笑顔で勤務できるよう「明るくのびのびと」をモットーに、職員一同全力で子どもたちの支援をしてまいります。



ニリンソウ



カタクリ



ホシザキユキノシタ



筑波山



楽しかったスキー旅行
平成22年3月19～21日

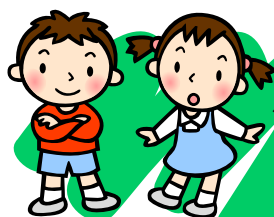


太陽ホーム、青空ホーム合同のスキー旅行へ行ってきました。

1日目は晴天に恵まれ、素晴らしい風景の中思う存分スキーを楽しみました。子ども達は、「こわい！キャー！すべれない！」と言いながらも、インストラクターの先生の言うことをしっかり聞いてレッスンを受けていました。夕食時には「すごく楽しい～もっと滑りたい～明日もいっぱい滑れるかなあ♪」と雪焼けした笑顔であふれていました☆



2日目、前日の天気予報では嵐の予報でしたが、風もやみ絶好のスキー日和！みんな前日の疲れも忘れて何回もリフトにのってスキー三昧！初日、ぎこちなく滑っていた子も、急な斜面を怖がることなく滑走していました。子ども達が一回りも二回りもたくましくなったスキー旅行となりました。



スナッグゴルフ贈呈式
平成22年4月4日(土)

JGTO(ジャパングルフ機構)様よりスナッグゴルフをご寄付頂きました。当日は、五十嵐プロはじめ、スタッフとしてたくさんの方々がいらしてくださいました。



皆さまにスナッグゴルフのやり方を広い芝生にて教えていただきました。五十嵐プロには、スナッグゴルフのやり方を子どもたちにとっても優しく楽しく教えていただきました☆ また、プロの渾身のショットには、皆驚いていました！

記念の植樹も行いました。樹は皆さまからご寄付頂きました♪

五十嵐プロには手やお皿や空き缶に皆サインを頂き、皆大喜びでした。JGTO様、五十嵐プロ、他スタッフの皆さま、本当にありがとうございました！今日のことは、一生忘れない思い出になりました。



3月
4月



入進学を祝う会

2010/04/05入進学を祝う会が行われました。小学校、中学校への入学、そして高校への進学をひかえた子どもたちを励まし、お祝いをする会です。

園長先生のお話が始まり、高校進学をひかえた子どもたちには、これからの豊富をそれぞれ語ってもらいました。

Mさんは、将来はネイリストになりたい
Tさんは、パティシエになりたい
Aくんは、義務教育ではないので、休まず学校へ行きたいそして、色々な中学校から入学してくるたくさんの友達と仲良くしていきたいと語ってくれました。支援している私たち職員にとって、とても感極まる内容でした。



対象となる子どもたちには、お祝いの品をプレゼントされました。小学校へ入学する子どもたちには、ピカピカの素敵なランドセルがプレゼントされ、小さな身体にはまだまだ馴染まない大きなランドセルみんなニコニコ笑顔で受け取っていました……あっという間にランドセル小さくなっていくんでしょうね。みんなの成長がとても楽しみです☆

中学校入学、高校進学の子もたちは、照れながらも笑顔で受け取っていました。とても微笑ましかったです。

登校皆勤賞の子どもたちも発表され、皆お祝いを頂き、「また今年も頑張るぞ！」と意気込みもますます感じられました。最後は、皆で記念撮影をして終わりになりました。とても心に残る入進学を祝う会となりました。



チームチャレンジ
多文化交流ユースフェスタ

東京ボランティア・市民活動センター様主催にて、チームチャレンジ多文化交流フェスタが行われ、本園2名の中学生も参加させていただきました。場所は、ジョイフル三ノ輪の商店街です。

他の高校生と協力し合い、お店の企画から買い出し、当日の販売を行いました。当日はものすごい人出で、彼女たちにとって、とても良い経験となったことでしょう。

関係者の皆さま、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



さくらホーム
ひたち海浜公園外泊

2010/03/20さくらホームの幼児さん達がひたち海浜公園へ1泊旅行に出かけました。

ひたち海浜公園には、アスレチックや広い芝生があって、身体を思い切り動かして遊ぶことができました。ボールやフリスビーを思い切り投げても壁がないので気持ち良く遊べました。

アスレチックの橋は高いところにあったので、登るのを怖がっていたのですが、自分一人で登り切ることが出来たときは嬉しかったようです。思い切り遊んで疲れた後の民宿のベッドは、トランポリンみたいで面白く、ぐっすり眠ることができました！

とても楽しい思い出ができ、また来年も行きたいなあ♪

